

埼玉の子ども 70 万人体験活動

所沢市立明峰小学校

野菜作り体験



第4学年

特色

●本校には、学校農園「ダッシュファーム」がある。4年の総合的な学習の時間で、ボランティアの協力を得ながら、「生ごみ処理機」を使って給食の野菜くずや残菜などから「エコたい肥」を作っている。これを学校農園や中庭で活用し、野菜や花を育てて、収穫した野菜を給食の食材に利用するほか、家庭に持ち帰って調理している。こうして、ゴミの減量化や資源循環の仕組みを体験的に学ぶ機会としている。昨年度からはキャリア教育も兼ねて、スーパー等で調べて決めた価格で保護者や地域の方々に野菜を販売している。売り上げは、次年度の種や苗の購入費用に充てている。

成果

●4年生以上は「野菜作り」や「エコ堆肥作り」を体験したことがあることと、取り立てておいしい野菜なので、全校児童が野菜を喜んで食べるようになり、野菜嫌いが減った。給食の残菜も減り、栄養バランスも整えられ食育の面からも成果があった。野菜の販売も今年は秋と冬の2回行い、看板や売り込み、野菜にメッセージカードをつけるなど、販売方法にも工夫が見られ、キャリア教育としても成果が向上している。